

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年09月17日

計画の名称	坂戸市、鶴ヶ島市における公共下水道計画											
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	坂戸、鶴ヶ島下水道組合											
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	3,387	A	3,387	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26当初	H28末	H30末
1	下水道処理人口普及率を69.4%(H26)から71.6%(H29)に増加させる。 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人)/総人口(人)	69%	71%	72%
2	石井水処理センター水処理施設整備率を40.0%(H26)から50.0%(H29)に増加させる。 石井水処理センターの水処理施設の整備率 処理能力(m3)/全体計画の処理能力(70,000m3)	40%	40%	50%
3	石井水処理センター焼却炉整備率を45.5%(H26)から45.5%(H30)にする。(H32で100%) 石井水処理センターの焼却炉の整備率 焼却能力(t/日)/全体計画の焼却能力(55t/日)	46%	46%	46%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	坂戸、鶴ヶ島下水道組合	直接	坂戸、鶴ヶ島下水道組合	管渠(汚水)	新設	石井処理区污水管渠整備事業	幹線整備 L = 2.8km、面整備45.4ha	坂戸市及び鶴ヶ島市						1,248	-	
	A07-002	下水道	一般	坂戸、鶴ヶ島下水道組合	直接	坂戸、鶴ヶ島下水道組合	終末処理場	新設	石井水処理センター水処理施設増設事業	水処理施設整備	坂戸市							2,063	-
	A07-003	下水道	一般	坂戸、鶴ヶ島下水道組合	直接	坂戸、鶴ヶ島下水道組合	終末処理場	新設	石井水処理センター焼却炉増設事業	焼却炉整備	坂戸市							0	-
	A07-004	下水道	一般	坂戸、鶴ヶ島下水道組合	直接	坂戸、鶴ヶ島下水道組合	管渠(汚水)	新設	北坂戸処理区污水管渠整備事業	面整備 L = 0.7km	坂戸市							76	-
												小計						3,387	
											合計						3,387		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
坂戸、鶴ヶ島下水道組合下水道事業運営審議会条例に基づき、坂戸、鶴ヶ島下水道組合下水道事業運営審議会にて事後評価を実施。	令和2年8月4日
	公表の方法
	組合のホームページへ掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道処理人口普及率が増加したことにより、生活環境の改善及び公共用水域の水質保全が図られた。 ・石井水処理センターの増設を行うことにより、処理区域の拡大に伴う流入水量の増加への対応が可能となった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>平成26年度～平成30年度までの5年間で社会資本整備計画による公共下水道事業を行い、交付金対象事業に優先順位をつけ計画的に分配し、さらに計画的な整備を行うことで定量的指標はほぼ達成することができた。</p> <p>今後も、未普及対策や浸水対策を重点計画として積極的に進めていくとともに、安心・安全、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。</p> <p>また、今後も指標及び指標については、平成30年度から社会資本整備計画の重点計画に移行したため、これ以降は社会資本総合整備計画（重点計画）にて評価する。</p>	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	指標		
	最終目標値	72%	社会資本整備総合交付金が削減されている状況であるものの、面整備事業を遅滞なく進捗させたことにより、最終目標値を上回る効果を達成した。
	最終実績値	75%	
指標			
2	最終目標値	50%	石井水処理センター水処理施設増設事業については、処理区域の拡大に伴う流入水量の増加に対応するため、平成27年度より3系水路の土木工事に着手し、平成29年度末には3系1池の機械・電気設備工事が完了し最終目標値を達成することができた。
	最終実績値	58%	
	指標		
3	最終目標値	46%	石井水処理センター焼却炉増設事業については、平成29年度から設計及び工事を予定していたが、埼玉県との汚泥共同処理の開始に伴い増設を取りやめることとし、事業計画から削除したため、目標の達成には至らなかった。
	最終実績値	46%	
	指標		